

# 椰子の葉陰に

赴任先：2010 - 2012年 ジャカルタ日本人学校  
現任校：帯広市立緑園中学校 教諭 古村俊大

## 1. はじめに

北海道を飛び出し、希望に胸を膨らませ赴任した南国インドネシア。赴任中は中二担任→中二主任→教務主任を経験。中学部経営学校経営を意識し、多忙を極めながらも、いかにして生徒を伸ばし育てるかについて考え実践できた“充実”した三年間。ここに感謝の意を込め簡単に報告いたします。

## 2. インドネシア共和国概要

### (1) 地理

- ア 総面積は約192万km<sup>2</sup> (日本約37万km<sup>2</sup>)で、日本の約5倍強。
- イ 島々は赤道をはさみ、東西5100km・南北1900kmにわたって点在し、その数約17000。
- ウ 「赤道にかけられたエメラルドの首飾り」と呼ばれる程、豊富な地下資源と緑豊かな自然環境に恵まれた、世界最大の群島国家。
- エ 地理的には、北緯6° から南緯11°、東経95° から東経141° に位置している熱帯無風地帯。
- オ 環太平洋火山帯に属し、全国に128の火山があり、そのうち78が活火山。



### (2) 人口・民族

- ア 推定約2億3900万人で世界第4位。年間2%以上の割合で人口は増加している。
- イ 人口分布は著しく不均等で、国土総面積のわずか6.9%のジャワ島、マドゥラ島に人口の61%が集中している。
- ウ ジャカルタ市内の人口密度は高く、推定人口は1000万人とも1200万人ともいわれている。
- オ 多くの民族(約300)と多くの言語・方言(約500)が同居する多民族国家です。

### (3) 国章ガルダ、国の標語「多様性の中の統一」、国家5原則「パンチャシラ」

国章ガルダ(神鳥)の中には『ビンネカ・トゥンガル・イカ』(多様性の中の統一)の文字

が記され、国の標語にもなっている。1945年8月17日の独立以来、「一つの国家・一つの言語」を目指して、数多くの難題を抱えながらも『統一』を図っている。

パンチャシラ  
〈 国家 5 原則 〉

- ①唯一神への信仰 ( 星 )
- ②民族主義 ( 菩提樹 )
- ③人道主義 ( 鎖 )
- ④民主主義 ( 野牛 )
- ⑤社会正義 ( 稲穂と綿花 )

国章ガルダ



(4) 宗教

- ア インドネシア共和国は一種の宗教国家である。国家5原則『パンチャシラ』は、その第一原則として「唯一至高神への帰依」を挙げ、憲法第29条には「国民の信仰の自由及び宗教的義務遂行の自由の保障」を規定している。インドネシアの国家・国民生活において宗教は重要な位置を占めている。
- イ 国民の約90%はムスリム（イスラム教徒）であり、インドネシア社会におけるイスラムの中心性は顕著である。しかし、イスラム教は国教ではない。憲法は特定の宗教には言及せず、政府はイスラム教とともにキリスト教プロテスタント、同カトリック、ヒンズー教、仏教の5大宗教を国家公認の宗教と定め、平等に憲法上の権利保障の対象とする基本方針を採っている。公認以外の宗教や無神論は許されていない。国民は公認宗教のうちいずれかを選び、住民登録や国勢調査などの際に申告する。

(5) 気候

- ア 一般的には熱帯性で、年平均気温は27℃前後である。季節や温度の変化はほとんどない。
- イ 1年は雨季（10～4月）と乾季（5～9月）の二つに区別されている。雨季は、一日中雨が降っているのではなく、主に夕方に雷雨があり、また止むといった程度のもの。また、乾季にはほとんど雨がなく、気温も比較的高い。しかし近年、世界的な異常気象により、乾季に入っても雷雨があることもある。
- ウ 湿気は日本ほどではなく風も吹く。朝晩は気温も若干下がる。日本の夏のような熱帯夜が続くことはない。こちらの気候に慣れてくると、日本の夏より過ごしやすと感じる人は多い。

(6) 言語

- ア 公用語はマレー語を母体としたインドネシア語であるが、地方語はジャワ語・スンダ語等約583種以上あると言われている。
- イ インドネシア語は、世界中で一番簡単な言語だとも言われており、3ヶ月位の生活で話せるようになる人もいます。それだけでそこそこやっていけますが、語彙が増えるのに比例して情報収集能力や活動範囲が広がり、研究にも深みが出てくる。先生方や奥様方の中には、個人的に家庭教師等を頼んで勉強している人もいます。

(7) 時差

インドネシアには西部、中央部、東部と三つの時間帯があり、西部にあるジャカルタは日本より2時間遅れとなっている。

(8) 歴史

- ア 80万年～100万年前  
中部ジャワは、人類と猿類の間といわれるピテカントロプス・エレクトス（ジャワ原人）の頭蓋骨と大腿骨が発見されたことで有名。およそ80万～100万年前には既に人類の祖先が、ここジャワ島に存在していたことが知られている。
- イ 紀元前3世紀ごろ～9世紀  
紀元前3世紀ごろアジア大陸東南地方からの民族移動があり、新石器時代、青銅器時代、鉄器時代を経て、7世紀には仏教国、9世紀ごろにはヒンドゥー教国、15世紀ごろにはイスラム

教国が、それぞれいくつか台頭し、しのぎを削っていた。世界文化遺産にも指定されている中部ジャワのポロブドゥール(仏教寺院遺跡)とプランバナン(ヒンドゥー教寺院遺跡)は、このころ(8~9世紀ごろ)に建造された。

ウ 17世紀前半~20世紀前半

オランダは1602年に東インド会社を設立、1619年にジャカルタを獲得しバタビアと改名し、アジア貿易の拠点とする。さらに1641年にはマラッカを奪い、この地域での覇権を確立しましたが、ティモール島だけはポルトガル領として残り、先般の東ティモール独立問題が生じるきっかけとなった。その後、オランダ本国の政変により一時期イギリスがジャワを支配していたが、オランダが統治権を取り戻すと、1910年代にオランダ領東インドとして領土が確定した。

エ 20世紀半ば~

民族解放が叫ばれるなか、1942年に日本軍が進駐した。1945年、日本が連合国に全面降伏すると、8月17日に独立が宣言され、スカルノを初代大統領に選出、オランダとの独立戦争を戦い抜いた後、1949年12月ハーグ円卓会議でようやくオランダから独立が承認された。

(9) 治安、感染症等

ア テロ事件

2012年8月現在の外務省の海外安全ホームページによると、「インドネシアにおいては、ジュマ・イスラミーヤ(JI)が首謀したとされる大規模な自爆テロが、ジャカルタ及びバリ島で2002年から4年連続して発生し、また2009年7月にもジャカルタで発生しましたが、その後、事件の実行犯とみられる強硬派主要メンバーが摘発されることなどにより、テロの実行能力は低下したものと見られていました。しかし、2010年2月、アチェ州においてテロリスト訓練キャンプの存在が確認され、訓練参加者に加え、JI主要幹部が摘発されるなど、依然としてテロの脅威が存在しています。また、2011年4月及び9月には、それぞれ西ジャワ州にある警察署内のモスク及び中部ジャワ州の教会付近で自爆テロが発生し、負傷者が発生しています。このため、テロの標的になるような場所には可能な限り近づかないようにするなど、安全確保に十分留意する必要があります。」とある。

イ 犯罪

強盗、パンク強盗、路上でのひったくり、一流ホテル内のロビーやレストランでの置き引き、あるいは押し売り等による被害が依然として跡を絶たない。また、タクシー強盗及び路線バス内での集団スリなど刃物を所持した強盗等も多く発生している。さらに、2009年の9月には、バリ島で日本人観光客の誘拐・殺害事件が起こった。また、2010年6月には本校の元職員だった老夫婦が使用人に殺害されるという事件も起きている。どちらも犯人は逮捕されたが、十分な注意が必要。私たちが主に活動するジャカルタでは、テレビ・ラジオ・新聞等で最新情報の入手に努めることが大切になってくる。

ウ 鳥インフルエンザなどの感染症

鳥インフルエンザに関しては、「2005年に鳥インフルエンザのヒトへの感染例が確認されて以降、現在に至るまで、継続して感染例が確認されています。養鶏場、鳥を扱う市場、観賞用鳥店、動物園、家禽類飼育家庭などに不用意・無警戒に立ち寄らず、接触を避け、特に、鳥類の死体、内臓、排泄物には接触しないでください。また、鶏肉や卵を調理する際には十分に加熱してください。念のため、人込みへの立入りは最小限にし、外出後には手洗い、うがいなどの通常の感染症予防対策を励行してください。高熱、全身倦怠感、呼吸器症状等が出た場合には、ためらわず最寄りの信頼できる医療機関を受診してください。今後、ヒトからヒトへの感染が発生・拡大するような状況になる可能性があり、その場合には、出入国や物流の制限が生じ、社会生活に大きな影響が及ぶおそれがあるため、最新の情報を入手するように努めてください。」と発表されている。狂犬病に関しては、「2008年以降、狂犬病の感染例が、ジャカルタ特別州、ジョグジャカルタ特別州等一部地域を除く全国で確認されており、インドネシア政府は、2011年2月、特に感染例の多いバリ州、北スマトラ州ニアス県及びマルク州東南マルク県の3地域に対し、狂犬病に関する非常事態宣言を発令して予防対策の強化を呼びかけています。これらの地域では、2010年だけでも、犬などの狂犬病媒介動物からの咬傷の報告数は

74,858 件にのぼり、このうち 195 例が狂犬病を発症・死亡しています。狂犬病は犬だけでなく猫やイタチ等の他の哺乳動物からも感染する可能性があります。犬や猫、その他の動物にむやみに手を出さないよう注意してください。また、もし狂犬病のおそれのある動物に咬まれた場合には、速やかに医療機関を受診するか、帰国後直ちに検疫所に相談して適切なワクチンを接種してください。」と発表されている。

## 2. 首都ジャカルタ

### (1) 人口

1020万人(2013年中央統計局)

### (2) 意味

ジャカルタとは「輝かしき勝利」を意味する。



### (3) 現在の様子

インドネシア共和国の首都で、政治・経済・文化・教育の中心地として、終日活気がみなぎっている。また、街にはとにかく人と車とオートバイが多く、交通渋滞は日常的に起こっている。



### (4) 三つの地区

ジャカルタはオランダ植民地時代、『バタビア』と呼ばれていた。その当時の面影を残す北部旧市街地『コタ』、独立広場・大統領官邸・諸官庁・ホテル・デパートなどの高層ビルが林立する中心部、そして在留外国人たちが多く住み、日本食スーパーマーケットのある南部と、大きく三つに分けることができる。

### (5) ジャカルタ中心部

下の写真は、近代的なビルが林立し、広い道路を多くの車が走っているジャカルタ中心部の様子。しかし、一步裏通りに入ると貧しい人々の家々が並び、はだしで歩く人も見かける。貧富の差が激しく、高級車に乗っている人もいれば、交差点で物乞いをしている人もいる。この国の光と陰を凝縮した街、それがジャカルタである。

## 3. 住環境

職員はジャカルタ市内南部周辺に住んでいる。理由は治安の良さとスクールバスの経路、日本語対応の可能な医療機関、買い物の店や幼稚園など直接生活に関わる場所がそろっているため。

「安全と安心を第一」にアパートメントが選定され、外を歩くことが難しく、アパート敷地内で過ごすことが多いため設備は充実している。子どもを遊ばせる施設が充実は大変助から。

また移動は運転手さんに全て委ねている。理由は渋滞と交通マナーの違いによるもの。ジャヤカルタ日本学校勤務25年のベテラン運転手スカルマンさん。どこに行くにも迷うことはなく、生活の良きアドバイザーとして活躍した。



### (1) 大渋滞ジャカルタ

2011年1月。新車販売台数は新記録を塗り替えたほど、今インドネシアは「新車購入ブーム」。経済状況が好転し中流階級が増え、まさに“バブル”状態。すでに国内車両面積は道路面積を超えました。また、バイクは庶民の足。若い家族は5人乗りも当たり前。バイク・車で埋め尽くされた道路で事故が起きないのが不思議。また、道路には「信号待ち」をする車への「喜捨（貧しいものへ富むものが与えるという考え方）」を求める子どもらの姿も目立つ。



### (2) 美味！インドネシア料理

長く生活しているようで意外にインドネシア料理を食べていない子が多いことに驚きます。メイドさんが家庭にいて「日本食」を提供している実態がある。毎日お弁当を作ってもらっている。ベテランのメイドさんがいる我が家でも、味噌汁や煮物まで作ってくれ、本当に料理上手。スーパーは日本食材にこだわらなければ良質で、豊富です。お米も問題ない。またレストランはインドネシア料理に限らず、どこも日本よりも安く、味も問題ない。辛い味を好むイメージはあるが、基本的には「辛くするのは個人次第」。

ナシゴレン（ナシ＝飯、ゴレン＝炒める、揚げる）こちらのチャーハン。ミーは麺。マサカン（料理）イカン（魚）＝魚料理という意味。テンペ（発酵させた豆）ゴレン＝豆揚げ。タフゴレン（揚げ豆腐）。ガド＝ガド＝温野菜ピーナッツソースのサラダ。どれも美味しい家庭料理。



### (3) 動物天国インドネシア

とにかく人口が多いジャカルタ。我が家から5分、近所の動物園にこちらの休日に行こうものなら身動きができないほど。それが平日に行くと誰もいない。有名な“コモドラゴン”で

さえ、手が届きそうな距離に普通にいる（写真）。カバは芸を見せるし、お値段も1人80円。

ちょっと離れた1時間程度の「サファリパー



ク」では、車の脇にライオンがいるし、草食動物やサルには給餌自由。また車を降りれば動物触り放題、インドネシア語でオラン（人）ウータン（森）という森の住人も、抱くことができる。象は乗ることも触ることも、給餌することも可能。また、檻から勝手に出てきたであろうテナガザルにも触ることができた。実に伸び伸びと生活している。

#### 4. ジャカルタ日本人学校 紹介

##### (1) 学校紹介

世界でも有数の規模を誇る日本人学校として今年で45年目（1968年創設）。

今年についても1079名を超える児童生徒が学んでおり、学級数も小学部24クラス（全学年4クラス）中学部8クラス（2013年度）。年々児童生徒数も増加傾向にあることで、国内の好景気を実感できる。

校舎環境は素晴らしく、グラウンドは小中各1面。プールも小中別。体育館も小学校中学校別にそれぞれ。中学校体育館については式典対策もありエアコンも設置されている。小学部低中学年・高学年・中学部と吹き抜けの設計により中央部での小集会も開催できるなど充実している。物品の不足の覚悟の在外教育施設。そんな不安もなく完璧な設備と豊富な教育物品に囲まれている。校地内には国内でも有名な植物園以上に数多くの種類の植物が植えられており、さまざまなフルーツや珍しい花や木も見ることができる。また、珍しいトカゲや昆虫や蝶も教室に入ってくることも少なくないなど、自然にも恵まれた環境。

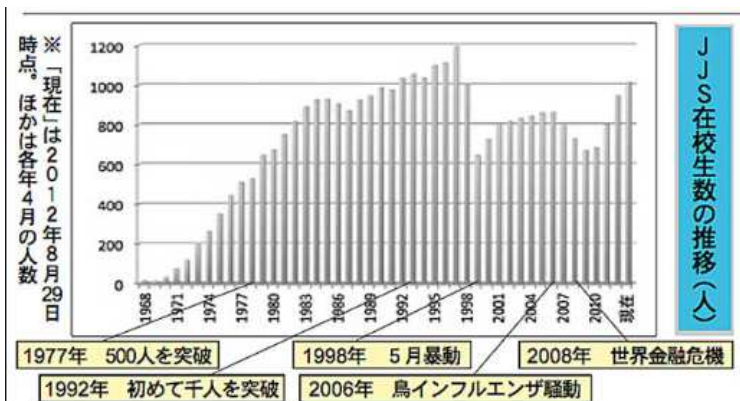


##### (2) 特色

インドネシアの宗教的な特色ともいえる朝の早さ（ムスリムの4時のお祈りの関係で）もあって、世界一とも言われる“交通渋滞”を避けるために、早めの行動が徹底されている。ちなみに出勤完了は6：30。始業は7：35。企業の就業終了時間前に帰宅させるため14：35に児童生徒は放課。

総合的な学習の時間では、インドネシア理解教育として現地校との交流や現地施設の見学、自然体験など、ここでしかできない教育活動に力を入れている。また在外教育施設としての外国語教育は、英会話とインドネシア語を毎週各1回行っている。小学部はバンドン、中学部はバリへの修学旅行することによって地域（島）による特色あるインドネシア文化にも触れる。

南国ならではの水泳授業も1年中を通して行っており、真っ黒に日焼けした子どもたち、ほぼ全員が泳ぐことができるほど。



##### (3) 進路指導

北海道には全く想像がつかない世界・全国規模の受験先。インター校を含み、海外受験校など選択は多岐にわたる。今年度については、単身アメリカに渡ることになる慶応義塾ニューヨーク校、東南アジア圏の在外教育施設の受け皿として代表される進学校、早稲田渋谷シンガポール校といった大学付属に15%。現地インターナショナル校（オーストラリア、シンガポールインターナショナル校）へは10%。国内国公立へは25%。他は国内有名私立国立高校5

0%といった状況。また自動車、バイクメーカーも多いため静岡県進学校受験、関西私立大学付属校の受験も目立つ。海外も含め、高校選択は私立大学(有名6大学)を意識した高校選択。そして偏差値のより高い所を受験する傾向があり、多い子で10校を受験する。(中学入学についても同様の傾向が見られるが、中学部への進学を希望する子も増えてきている。)

12月で3年間の教科書を終わらせ、「3学期は日本へ帰国して受験対策」「3学期は中3の登校者は数名」といった従来の流れに対し、今年度の進路指導は「早め早めの進路指導」「卒業までの充実した指導」。これにより3学期にはすでに進路を決めた子を増え、例年よりは3年生の姿を今年は見ることが出来る。

※早稲田渋谷シンガポール校：TOEIC300点で入学したとしても、卒業までに700点後半をとらせるといった徹底した英語指導と、推薦での進学先、私立大学は100%確保している。ほぼ全員が寄宿舎生活になるが、夜22時まで教職員が自習の面倒をみるという進学校。

#### (4) 学校行事

##### ア 体育祭

一年で最も忙しく、そして大々的な行事となっている体育祭。小学生を含めたの同日日程ということで、ほとんどの日本人会会員が集まると言っても過言ではないほどの盛況ぶり。



私自身が初めての指導となった「組体操」。伝統種目として中学生男子に課せられる試練。「危険」ということで、なくなりつつある演目をここでは継続させています。中学部女子はダンスを発表する。



応援合戦も行われています。2013年には5色対抗。小1から中3までの縦系列で行われ、小学生を中学生が指導することにも大きな意味がある。



イ JJSフェスティバル

小学校の「学習発表会」と中学校の「文化祭」の融合。中学では当然のように「合唱コンクール」もある。日本人会のお祭り部門の指導で、「神輿」が行われている。中学生と小学生が交流することで、コミュニケーション能力を養っている。幼小中学校が一緒に校舎にすることが利点。

ウ 日本インドネシア友好親善スクール

地元近隣校との親善行事。お互いの実行委員会が1日を企画する。簡単なゲームをしたり、創作活動を行ったり。おぼつかないインドネシア語でも、交流し、最後はインドネシア語・日本語のオリジナルソング「プルサハバタン(友好の意)」を全員で合唱する。



(5) 勤務状況

教職員数

文科派遣	維持会採用	50
英会話		8
特別支援		2
現地語		5
図書館司書		1
事務		25
用務員		30

勤務状況

起床	5 : 00
出勤	6 : 30
打合	7 : 20
始業	8 : 00
終業	14 : 30 (バス発車)
	※部活動 1h
帰宅	19 : 00 ~
※半分以上がこの時間まで職員室にいる	
※私本人は	
	22 : 00以降の帰宅が基本



5. さいごに

熱意さえあれば、どんな教育活動も可能なのが在外教育施設であると感じる。

ページに限りがあり、行った教育活動について報告することはできないのが残念なほどさまざまな挑戦ができたのが大きな財産だった。

職員室は全国大会。全国から集まる仲間と議論し、今までの過去の慣例を踏襲することに異を唱え、新たなことに挑戦、創造していくことは実に楽しいものだった。

学級経営、教科経営等の最低限の仕事をこなし定刻には帰宅し、帰国後のことを考えてかカメラを持ちせっせと街並みや国内生活事情を撮影しファイリングしている海外旅行気分の教員もいる。

あくまでも職務はそこにいる子どもたちのために何ができるか、今しかできないことは何なのか、これに尽きると思う。

今後も派遣される教員諸子の創意と熱意により、ますます充実した教育活動が展開されることを願っている。